

平成20年度

公立大学法人山口県立大学

当初予算報道発表資料

平成20年3月28日

【問合せ先】

公立大学法人山口県立大学
経営企画室

TEL 083-928-5467

担当 あの かじま
 阿野 梶間

I 予算編成方針

平成18年4月に地方独立行政法人に移行した本学は、これまで2年間、理事長(学長)のリーダーシップの下に、教職員・学生が一体となって、教育研究の質の向上や業務運営の改善などに取り組んできました。

平成20年度は、年度末に第1期中期目標期間(平成18年度～平成23年度)の折返し点という大きな節目を迎えることから、これまで進めてきた大学の活性化への取組を引き続き意欲的に推進し、その成果を着実に示しつつ、「存在感のある地域貢献型大学」としてさらなる飛躍を目指します。

こうしたことから、法人化後3年目となる平成20年度予算は、これを「中期計画推進ステップ予算」と位置付け、予算編成に当たっては、

- **教育・研究の活性化**
- **地域貢献・地域連携の強化**
- **学生支援の充実**
- **国際化の推進**

を重点事項とし、計画的かつ有効的な予算配分を行うことを基本方針として編成を行いました。

II 予算の概要

1 予算規模

予算規模は、21億17百万円で、前年度当初予算(20億6百万円)に比べ、5.5%増(1億11百万円増)となっています。

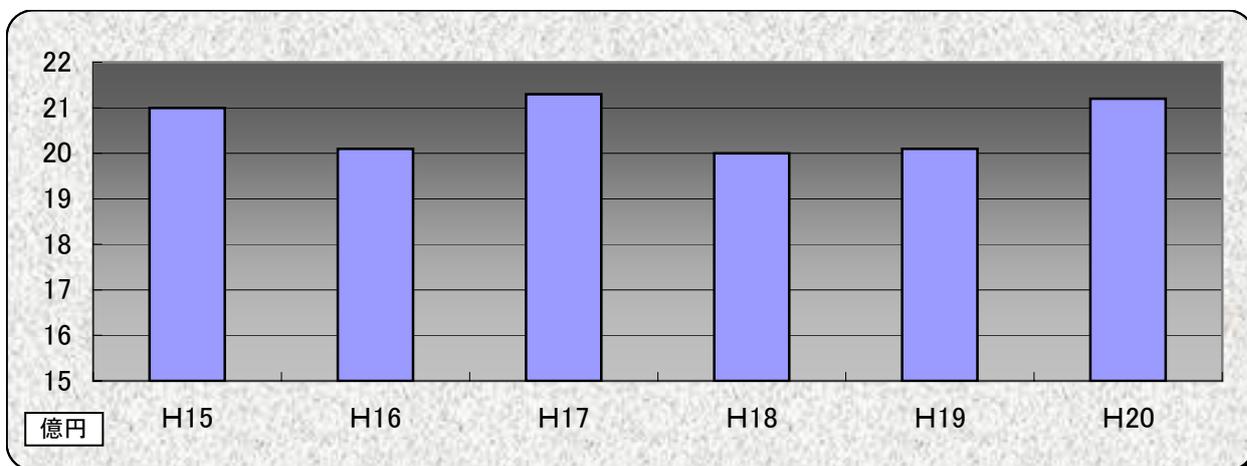
(単位 千円)

区 分	平成20年度 A	平成19年度 B	A - B = C	C / B (%)
収入支出予算額	2,117,475	2,006,523	110,952	5.5

<参考> 当初予算規模の推移

(単位 千円)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
2,096,847	2,009,620	2,126,444	2,002,018	2,006,523	2,117,475



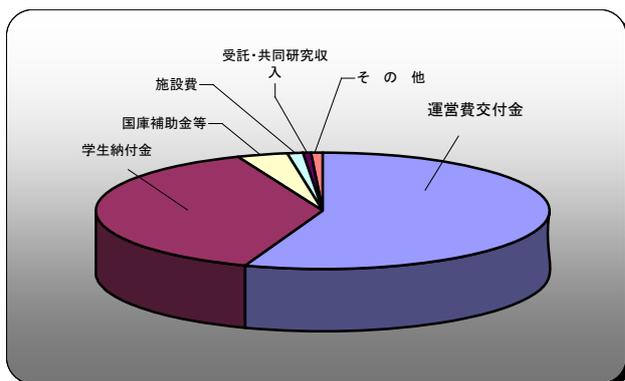
※1 平成15～17年度は県予算、平成18～20年度は法人予算。

※2 平成17年度は、独立行政法人移行経費、大学院博士後期課程設置経費(146,775千円)を含む。

2 収入予算の概況

(単位 千円、%)

区 分	平成20年度A		平成19年度B		A - B = C	C / B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金	1,175,205	55.5	1,158,520	57.7	16,685	1.4
施設費	21,000	1.0	20,000	1.0	1,000	5.0
学生納付金	814,912	38.5	798,303	39.8	16,609	2.1
国庫補助金等	74,452	3.5	—	—	74,452	皆増
受託・共同研究収入	14,000	0.7	12,000	0.6	2,000	16.7
その他	17,906	0.8	17,700	0.9	206	1.2
合 計	2,117,475	100.0	2,006,523	100.0	110,952	5.5



◆運営費交付金と学生納付金とで19億9千万円と全体の94.0%を占めています。

◆運営費交付金は、中期計画期間中の総額(62億円)の範囲内で、法人の財政計画に沿って、県から交付される額、11億75百万円(1.4%増)を計上しています。

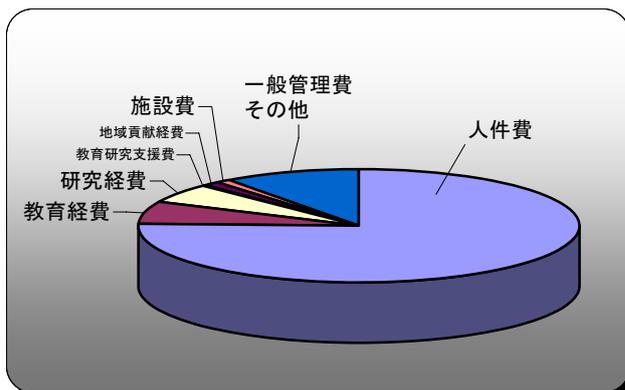
◆学生納付金は、收容定員増(平成19年度学部学科再編に係る学年進行分)などにより約16百万円の増(2.1%増)を見込んでいます。

◆文部科学省に採択(平成19年度)された大学教育改革支援プログラム(GP)の補助金を計上したことにより、国庫補助金等74百万円が皆増しました。

3 支出予算の概況

(単位 千円、%)

区 分	平成20年度A		平成19年度B		A - B = C	C / B
	予算額	構成比	予算額	構成比		
人 件 費	1,597,886	75.5	1,553,738	77.4	44,148	2.8
うち 役職員給与費	1,516,227	71.6	1,500,485	74.8	15,742	1.0
うち 退職金	81,659	3.9	53,253	2.7	28,406	53.3
教育経費	131,604	6.2	82,078	4.1	49,526	60.3
研究経費	118,000	5.6	116,844	5.8	1,156	1.0
教育研究支援費	8,297	0.4	8,797	0.4	△ 500	△ 5.7
地域貢献経費	27,661	1.3	18,536	0.9	9,125	49.2
施設費	21,000	1.0	20,000	1.0	1,000	5.0
一般管理費その他	213,027	10.1	206,530	10.3	6,497	3.1
合 計	2,117,475	100.0	2,006,523	100.0	110,952	5.5



◆人件費が支出予算総額の約3/4(75.5%)を占めています。なお、役職員給与費の約80%(11億76百万円)は教員給与費となっています。

◆大学教育改革支援プログラム(GP)の事業本格化に伴い、教育経費(60.3%増)や地域貢献経費(49.2%増)は、大きな伸びとなっています。

◆その他、個々の取組については、次ページ以降に紹介しています。 <→P3>

Ⅲ 重点・新規事業

1 教育・研究

(1) 教育プロジェクト(現代GP、特色GP)の推進 46,340千円

◆ 現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)

▼ やまぐち多世代交流・地域共生授業の展開 14,500千円

「地域が学校、地域住民が先生」の基本理念の下、学生がキャンパスを飛び出し地域住民と多世代交流を行うことにより、学ぶ意欲を高め、地域社会を活性化する取組を展開する。

▼ 持続可能な社会に繋がる人的財産の育成 16,500千円

PDC Aサイクルに則った実践的な環境・健康教育を行うことにより、学生の環境・健康に関する配慮意識・実践力を高め、持続可能な社会につながる人的財産を育成する。

◆ 特色GP(特色ある大学教育支援プログラム)

▼ 重層的学生支援教育による福祉人材養成 15,340千円

教員の教育力増強や教員間の連携強化を行うとともに、地域住民と学生との交流による学生の社会性涵養、福祉現場における実習指導の質的向上を図る。

【詳細はGP補助金取組一覧(P8)】

(2) 副専攻制度の創設 13,448千円

新 学生が専門分野(主専攻)以外の分野の授業科目を体系的に学修することにより、多様な知識と能力を身に付け、就職等に有利なセールスポイントとしても活用できるよう、主専攻以外の分野の学習成果を認証する「副専攻」制度を平成20年度から創設する。

副専攻分野

○ 環境システム (21授業科目(38単位)のうち24単位以上)

○ 健康 (15授業科目(27単位)のうち24単位以上)

▼ 授業科目開講費 11,759千円

▼ 教務情報の管理運用経費 1,689千円

(3) 特色ある新たな授業科目の開講

新たな教育課程(学部学科再編等)や副専攻制度の創設に伴い、特色ある授業科目を開講する。

<特色ある授業科目の事例>

全学共通教育

【エコアクション21構築実習】

エコアクション21の認証取得(平成18年9月)後における、本学での継続した環境教育や環境活動の取組の成果を踏まえ、社会や地域での環境マネジメントシステム構築・運用のリーダーとなる能力を習得させる。

文化創造学科

【プレゼンテーション実習】

自分の考えや主張を正確に相手に伝えることが出来るよう、言語や視覚的・音響的手法を用いた効果的なプレゼンテーションを行う能力を習得させる。

社会福祉学部

【精神保健学】

精神保健福祉士課程の専門授業科目のスタートとして、精神保健についての基礎的知識・ライフサイクルにおける心の発達と問題について学ぶ。

(4) TA(ティーチングアシスタント)・RA(リサーチアシスタント)制度の創設 2,000千円

新 大学院生の教育研究能力の育成・向上を図るとともに、本学の教育研究活動の充実に資するため、優秀な大学院生に授業時における学部学生に対する助言等の教育補助業務(ティーチングアシスタント)や、学内のチームが行う研究活動を補助する研究補助業務(リサーチアシスタント)に参画する機会を提供する。

- ▼ TA(ティーチングアシスタント)制度運用経費 1,000千円
- ▼ RA(リサーチアシスタント)制度運用経費 1,000千円

(5) 教授研究費の配分見直し

① 研究費のうち特別研究費(競争的研究費)の配分割合を高めることにより、教員の研究意欲を高め、学内の研究活動のさらなる活性化を図る。

新 ② 特別研究費の中に複数の学部・研究科にまたがる学際的共同研究、海外の大学との国際共同研究、国内外の大学への研修派遣を支援する制度を創設し、教員の研究活動の充実に資する。

	平成20年度 (前年度比)	平成19年度
▼ 個人研究費及び学部共通研究費	68,700千円 △6.8%	73,700千円 ←
▼ 特別研究費(競争的研究費枠)	48,500千円 <u>+16.0%</u>	41,800千円 ←
合 計	117,200千円 +1.5%	115,500千円

2 地域貢献

(1) オープンカレッジ(各種講座等)の拡充

区 分	平成20年度	平成19年度
▼ 公 開 講 座	6 講座	6 講座
▼ 公 開 授 業	10 講座	7 講座
▼ 公 開 講 演 会	5 講座	5 講座
▼ サテライトカレッジ	13 講座 (10市町)	13 講座 (9市町)
▼ やまぐち桜の森カレッジ	4 コース	4 コース
▼ キャリアアップ研修	2 講座	2 講座
▼ 高校生対象夏季公開講座	3 コース	2 コース
▼ 合 計	43 講座等	39 講座等

公開講座	「豊かな暮らしとデザイン」「子育て上手になるにはどうしたら?」「健康な生活をつくる」「やまぐちの文学」「ヘルシースポーツカレッジ・シルバーコース」など
公開授業	「生命と生活の質特論」「環境問題」「基礎セミナー(環境)」「基礎セミナー(健康)」「女性学」「医学」「法学」「アジア文化論」など
サテライトカレッジ	「楽しく学びくらしに生かす」「幼児期の子育てセミナー」「地域価値創造セミナー」「地域リーダーキャリアアップ講座」「扉を開こう!山口からアジアへ」「いきいき健康づくり」「韓国を知ろう」「やまぐちの歴史と文化」など
キャリアアップ研修	「軽度発達障害の理解と対応(保育士対象)」「メタボリックシンドローム対策保健指導(管理栄養士対象)」など

※講座の名称等はいずれも現時点での予定・仮称であり、今後、変更することがあります。

(2) 社会人学び直しプロジェクト(学び直しGP)の推進 6,998千円

◆ 学び直しGP(社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム)

▼ 栄養士キャリアアップ支援プログラムの開発 6,998千円

現職の管理栄養士を対象に、健康を害する生活習慣の改善を促進する栄養指導を行うため必要な実践的能力を身につける教育プログラムを開発し、栄養士キャリアアップ研修を実施する。

【詳細はGP補助金取組一覧(P8)】

(3) 認定看護師講習の開設 2,000千円

新 認定看護師※講習の平成21年度開講に向けて、講習機関認定申請、開設に向けた諸準備や受講生募集・選考などを行う。

※認定看護師：日本看護協会の認定審査に合格した「特定の看護分野(17分野)において、熟練した看護技術と知識を有し、水準の高い看護実践等を行うことの出来る看護師」

(4) 住民主導型介護予防活動支援事業 765千円

平成19年度において、地域課題に対応した提案型研究事業として、介護予防に係る住民主導の継続的な取組についての指針となる「住民主導型介護予防活動支援マニュアル」を策定した。

これを踏まえ、平成20年度は、山口市・関連団体と本学との連携によるモデル事業において、「住民主導による日常的な介護予防活動の実践」における課題の抽出・検討を重ねることにより、支援マニュアルの検証を行う。

平成21年度以降、支援マニュアルに基づいた住民グループの自主的な介護予防活動の取組を普及させる。

3 学生支援

(1) 学生支援プロジェクト(学生支援GP)の推進 17,999千円

◆ 学生支援GP(新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム)

▼ 総合的人間関係力を涵養する学生支援 17,999千円

大学や地域社会(プレ社会)において、学生がプレ社会の要請に応じて様々な取組を行うことにより、自主自立の精神を養い、総合的人間関係力を獲得させる。

【詳細はGP補助金取組一覧(P8)】

(2) 学生スタッフ制度の創設 2,800千円

新 学生に自主・自立の精神と総合的な人間関係力を身に付けさせるため、大学の公的活動や地域活動に主体的に参画する機会を提供し、併せて奨励費を支給することにより経済的支援を行う。

▼ 学生スタッフ奨励費 2,800千円

(3) 学生利用施設の環境整備 4,859千円

新 自学自習室(「学習棟(仮称)」)、健康サポートセンター、課外活動施設(有隣館)など、学生が利用する施設の整備・改修や利用環境の改善を行う。

▼ 自学自習室(「学習棟(仮称)」)のオープン<平成19年度予算で整備>

▼ 健康サポートセンター利用改善 3,484千円(再掲)

▼ 課外活動施設(有隣館)学生ロッカー設置 583千円

▼ AED(体外式自動除細動器)設置(7カ所) 792千円

4 国際化

(1) 姉妹校との交流 2,402千円

新 学術交流協定提携校のうち3大学(センター大学、ビショップス大学、慶南大学校)に訪問団を派遣し、学生交流、教員交流、共同研究等今後の交流課題について、協議を行う。

(2) 留学生地域交流 189千円

新 本学留学生と地域社会との国際交流を促進するため、県内小中学校での留学生による国際理解教育講座を開催する。

- テーマ : 「知っていますか? 県立大学一留学生との出会いから始まる世界への窓」
- 開催場所 : 県内15カ所(過疎・離島地域を主体)

(3) 国際共同研究調査 800千円

新 学部や研究科(大学院)が、特定領域について海外の大学と組織的に行う国際共同研究に関し、その実現可能性について協議を行う。(候補大学: ハワイ大学、慶北大学校保健学大学院、青島大学)

(4) 海外に向けた広報活動の推進 850千円

新 本学の教育研究の成果や国際交流の取組について、外国語によるホームページや大学パンフレットでの情報発信を行い、国際化の促進に努める。

- ▼ 英語、中国語、韓国語によるホームページでの情報発信
- ▼ 英語版大学パンフレットの作成
- ▼ 海外からの交換留学生へのY P U通信員委嘱

5 大学運営

(1) 大学将来構想の調査検討 1,000千円

新 キャンパス移転の実現を視野に入れ、10年後、20年後における各学部の研究活動のあり方や大学全体の施設整備の方向性について、調査・検討を進める。

(2) 大学広報の充実 8,000千円

山口県立大学広報基本方針に基づき、広報誌・WEB・ビデオなど各種の情報媒体を活用した効果的・戦略的な広報活動を展開する。

- ▼ 広報誌の発行(年2回の定期化) 3,000千円
- ▼ WEB関係広報の充実 4,000千円
- ▼ PRビデオ制作・配信 1,000千円

(3) エコアクション21の活動活性化 4,316千円

本学は平成18年9月に国公立大学としては初のエコアクション21の認証を取得したところであるが、平成20年度においても、引き続き、環境教育や環境活動に学生・教職員一体となった実践的な取組を推進し、環境負荷の低減に努める。

- 新** ▼ 節水システムの導入(15%節水の取組)
- ▼ エコプロダクツ展(主催(社)産業環境管理協会ほか)への出展による本学の取組のPR
- ▼ EA21学生委員会活動費

(4) 光熱水費節減

環境活動(エコアクション21)の取組のひとつとして、持続的な環境負荷の低減につながる大学運営に努め、光熱水費を5%節減する。

光熱水費 平成20年度 (前年度比) 平成19年度
 48,768千円 $\Delta 5.0\%$ ← 51,335千円

(5) 人件費の状況

(単位 千円、%)

区 分	平成20年度		平成19年度		増減	
	予算額	人員	予算額	人員	増減額	増減率
役職員給与費	1,516,227		1,500,485		15,742	+ 1.0
役員	39,582	7人	38,978	7人	604	+ 1.5
教 員	1,120,542	123人	1,136,361	123人	Δ 15,819	Δ 1.4
常 勤						
非 常 勤	55,707	※1	48,389	※2	7,318	+ 15.1
事務職員	226,757	27人	227,171	27人	Δ 414	Δ 0.2
常 勤						
非 常 勤	73,639	★1	49,586	★2	24,053	+ 48.5
退職金	81,659	5人	53,253	3人	28,406	+ 53.3
合 計	1,597,886		1,553,738		44,148	+ 2.8

※1は非常勤講師・臨時実習助手・GP非常勤教員、※2は非常勤講師・臨時実習助手

★1は臨時職員・保健師(2名←1名)・GP非常勤職員等、★2は臨時職員・保健師(1名)等

<参考> 大学教育改革支援プログラム(GP事業)の取組一覧

大学教育改革支援プログラムは、各大学などにおける教育改革の取組が一層推進されるよう、国公私立大学を通じた競争的環境の下、特色・個性ある優れた取組を文部科学省が選定し、助成を行うものである。

本学では、平成19年度に4分野5件が採択された(公立大学では最多)。平成20年度の事業費合計は約71百万円、事業期間中(平成19～21年度、学生支援GPは22年度まで)に総事業費合計は約2億4千万円の支援が見込まれる。

(単位 千円)

区	分	概要	総事業費	19年度	平成20年度	21年度	22年度
現代 GP (教育)	やまぐち多世代 交流・地域共生 授業の展開	<ul style="list-style-type: none"> ●「地域が学校・地域が先生」という理念に基き「地域と共生」科目を学部、大学院で開講 ●「地域と大学のかかわり」をテーマにドキュメンタリー映像作品の作成と公開 ●山口市と提携し、各地で地域づくりの支援を行うとともに、「山口地域再生フォーラム」を開催 	44,585	14,085	14,500	16,000	
	持続可能な社会 に繋がる人的財 産の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●全学共通の授業科目「実践的環境・健康教育」を公開授業(市民参加型授業)として開講 ●副専攻制度を創設 ●壁面・屋上緑化など地球温暖化防止への実践的な取組の開始 ●大学間交流環境会議への参加 	49,470	16,470	16,500	16,500	
特色 GP (教育)	重層的学生支援 教育による福祉 人材養成	<ul style="list-style-type: none"> ●学部研究会・実習合宿、教員研究会への派遣等教員の教育力の強化、実践的な福祉教育教材の開発 ●地域交流拠点(YUCCA)における学生と地域の交流(Baby Café、Oldies Café、子育てピアカウンセリング、はーとボランティア講座 等) 	46,322	14,982	15,340	16,000	
学生支援 GP (学生支援)	総合的人間関係 力を涵養する学 生支援	<ul style="list-style-type: none"> ●学生活動支援センターを設置し、学生の地域活動参加等を支援 ●学生スタッフ制度を創設することより、学生に自主・自立の精神と総合的な人間関係力を涵養し、併せて経済的な支援を行う。 	73,549	9,550	17,999	23,000	23,000
学び直し GP (地域貢献)	栄養士キャリア アップ支援プロ グラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> ●現職の管理栄養士を対象とした生活習慣改善を支援する栄養指導法の教育プログラムの充実 ●「栄養士キャリアアップ研修」の開催 ●メタボリックシンドロームを予防するための生活習慣改善を支援する「YPUすこやかライフセミナー」の実施 	24,157	10,159	6,998	7,000	
合	計		238,083	65,246	71,337	78,500	23,000